

— 特集 —

## キャリアとは「人間力」 ～魅力あるキャリア形成を使命として～



### 【話題の研究】

健康管理に役立つ「家系図」  
深まる遺伝への理解

### 【社会貢献】

独自のアルゴリズムが実現した  
至れり尽くせりのバスネット

### 【シリーズ】地域を創る

地域学部附属子どもの発達・  
学習研究センターが設置されました

### 【大学の動き】

「平成26年度国際科学技術共同研究推進事業」に採択  
ファブラボとっとりキックオフシンポジウムを開催他



キャリアセンターは、大学教育支援機構に属するセンターの1つとして、平成22年4月に設置しました。ここでは、明確な目的意識を持って日々の学業生活に取り組み姿勢や将来、社会人として自立していくことのできる能力を養う「キャリア教育」と、高等学校における「進路指導」に相当する「就職活動等の支援」を担うことによって、将来の人生設計に至る動機付けや方向付けの支援を行います。

## キャリアセンターについて



キャリアセンターは、「共通教育棟B棟」の1階図書館側にあります。



インターネットによる検索



学内合同企業説明会



就職相談



就職手帳の作成・配布



就活図書・DVDの貸出・閲覧



就職支援バスの運行

- ### 【主な提供サービス】
- 就職相談（就職活動の進め方、自己分析方法、応募書類の書き方、会社訪問のやり方、面接練習 etc.）
  - 求人情報・企業等のパンフレットの閲覧
  - 公務員試験・教員採用試験資料の閲覧
  - 就活参考図書・DVDの閲覧及び貸出
  - 就活関連DVD視聴及び貸出
  - 就職支援システム、インターネット検索
  - 県内企業見学会
  - 就活ニュース
  - インターンシップ手続
  - 学内企業説明会（合同・個別）、公務員教員採用説明会の実施
  - 就職手帳
  - 就職ガイダンス・セミナーの実施
  - 就職診断の実施
  - 公務員試験対策講座
  - 就職支援バスの運行

# キャリアとは「人間力」

～魅力あるキャリア形成を使命として～

平成22年4月、学生のキャリア形成支援を全学的に行う組織として設置したキャリアセンター。キャリアセンターが社会的ニーズの変化にどのように対応し、キャリア形成に取り組んでいるのか、ご紹介します。

## 人間力＝学生・地域が飛躍する力

キャリアセンターでは、就職活動の支援だけでなく、学生自身が入学時から将来に向けて主体的にキャリア形成に取り組むようサポートしています。1年次からキャリア教育をカリキュラムに組み込み、インターンシップ等を通して企業との接点を設け、企業・業界研究へ取り組み環境づくりを行っています。

その特徴として経験豊富なキャリア相談員6名を配置し、企業・団体との協働連携も図っています。キャリア相談員らは企業の採用担当者やハローワークに在籍していた経験豊富な相談員です。学生数に対しての相談員数としては全国的にもかなり充実し、相談件数は年間5,400件あります。

さらに鳥取・山口・高知・愛媛県の大学・短大と各県内企業・経済団体・自治体との産学協働でのキャリア形成支援・インターンシップ推進、また大学教育の改善についても検討を進めています。鳥取県内においては、本学・鳥取環境大学・鳥取短期大学・米子工業高等専門学校と鳥取県・地元経済団体・地元企業による協働型の「鳥

取県地域コラボ会」を組織しています。本学が座長校として運営し、鳥取で学ぶ学生が地域社会・産業の中核的人材として卒業後も活躍できるように、その育成と確保を重点課題として取り組んでいます。今年春からは、同コラボ会の事業として新たに「地域協働型インターンシップ」を始動しました。このような様々な取組の成果により、近年は学部卒の就職率は96%前後、修士修了で97%で推移しています。

### 就職活動スケジュールの変更と、今後の課題

就職活動の大きな動きとして、現在の学部3年生、修士1年生（平成28年3月卒業・修了予定者）から就職活動スケジュールが変更となります。具体的には、現在、学部3年生・修士1年生の12月1日に企業の採用広報活動・説明会が解禁されますが、これが3ヶ月後の3月1日に解禁されることとなります。余裕が生まれたのではなく、短期決戦です。学生の関心も高く、ガイダンス等の内容・実施時

期を見直し、効果的な支援を行います。また学生毎に事情も様々です。障害を持つ学生も在籍しています。今年度新設された学生支援センターを始め、ハローワーク等とも連携し、きめ細かな対応をより充実させる事も大切だと考えています。課題としては、より効果的な支援実施と早期からの社会経験に対する啓発活動です。学内全体が卒業後の明確な目的のもと、学生生活を充実させるんだ！という雰囲気になったりという取り組みがしたいと思っています。



キャリアセンター長 齋本 博之

# Message 卒業生からのメッセージ

川崎 由美子 地域学部卒業生  
卒業年度:平成22年度  
勤務先:養父市役所

大学での就職活動は正直あまりうまくいかず、就職が決まったのは大学4年の2月でした。ようやく決まった就職先は地元の、決して大きくはない製菓会社でした。接客業で、和洋菓子の販売を行い、また古くから地域とのつながりが深い会社であることから、地域の方に喜んで頂けるイベントを企画・実施するなど、それなりにやりがいを感じていました。

しかし、自分はこのままでいいのか、もっと視野を広げ自分自身が成長したい、また広く社会に貢献したいという思いがあり、仕事を続けながら、市職員の採用試験を受けました。面接等でアピールしたことは、主に大学時代のまちづくり活動の経験でした。やはり、地域学部でまちづくりをした。という経験は大いに強みになりました。他ではなかなかできない貴重な経験ができ、今となってはそのことが生きてきました。少し遠回りしましたが、私のこれまでの経験すべてが、今につながっていると実感しています。



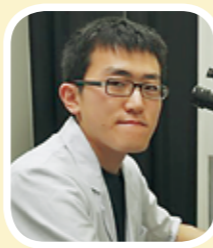
地域学部卒業生  
川崎 由美子  
卒業年度:平成22年度  
勤務先:養父市役所

小川 啓太 医学部卒業生  
卒業年度:平成25年度  
勤務先:熊本県警刑事部 科学捜査研究所

私が勤務している科学捜査研究所は都道府県警察の組織の一つであり、全国ニュースに取り上げられるような凶悪事件から軽微な事件まで、真相解明に向けて日々奮闘しています。

私は最初に卒業後は大学院への進学か企業へ就職するか悩みましたが、生命科学科で学んだことを活かすことができる仕事を探したところ、科学捜査研究所を見つけました。やりたい仕事が決まった後は、各都道府県警等のHPから過去問をダウンロードし、出題範囲の確認や独学で勉強するなどの対策を行いました。面接では、練習不足のため「素の自分」が出てしまい、不採用だと思いましたが、対策本の受け売りではない自分の思いが面接官に伝わったためか、無事合格することができました。

私が皆さんに忘れてないでほしいことは「内定はゴールではなく、ただの通過点である」ということです。「仕事をやっていく」ということを念頭において就職活動に取り組んでほしいと思います。



医学部卒業生  
小川 啓太  
卒業年度:平成25年度  
勤務先:熊本県警刑事部 科学捜査研究所

日野 大輔 工学研究科修士  
修了年度:平成22年度  
勤務先:日立造船株式会社

地球環境に良く人に役に立つものを作りたいと思い、就職活動を行っていました。

その中で出会ったのが日立造船でした。日立造船の主力製品にはごみ焼却発電施設、海水淡水化プラント、津波波高を観測するGPS海洋観測システムなどがあり、地球と人のための技術に力を入れている所に魅力を感じ入社しました。

現在、私はごみ焼却発電施設内の機器の設計や配置計画の立案を行っています。強度計算や通路確保などで悩むこともあり、思い通りに仕事が進まないことが多々あります。ただ、自分自身で設計し、図面を描いた機器が完成して動き出した時には、何とも言えない達成感があり、やりがいとなっています。

学生の皆さんには多くの可能性があります。学会に参加したり、海外旅行したりして知識・知見を増やしてください。この様にして蓄積したものが、就職活動また社会に出てから自分自身の大きな武器になると私は思います。



工学研究科修士  
日野 大輔  
修了年度:平成22年度  
勤務先:日立造船株式会社

西尾 美香 農学部卒業生  
卒業年度:平成22年度  
勤務先:株式会社雲仙きのこ本舗

私は、地元の大学で学んだことを活かした仕事に就きたいと思い、この会社に入社しました。当然、この会社に入社した瞬間からネットなどで募集していなかったり、色々な方に協力してもらって直接採用担当者との連絡を取り、採用していただきました。

現在、きのこの種類の検査・培養・供給を主に行っています。エノキタケの品種登録も申請しようとして、今準備を進めています。他のきのこの会社に出張して勉強することもあるのでとても刺激になりますし、更に知識を増やすことができていると思います。希望通り大学で学んだことを最大限活かせる仕事に就けたと思います。また、会社の中で自分にしかできない仕事があるのでやりがいも感じています。

就活では、自分がやりたいことや目標を明確にすること、自分の将来のイメージを持つことが重要だと思っています。そうすれば自分がやるべきことが見えてくるはずですよ。



農学部卒業生  
西尾 美香  
卒業年度:平成22年度  
勤務先:株式会社雲仙きのこ本舗

## 就職相談について

キャリアセンターではキャリア相談員による就職相談を行っています。就職活動の進め方からエントリーシートの添削、模擬面接等、就職に関することなら何でも相談できます。経験豊富な相談員6人（うち米子地区の医学部学務課に1人）が親身になって学生の相談に対応します。1年生から相談可能です。また、相談内容は就職支援システムに記録し、相談員同士で情報を共有しながら学生へきめ細かいサポートを行っています。



キャリア相談員（鳥取地区常駐）

### 【相談対応時間】

月曜日～金曜日  
9時～16時40分  
その他、各学部での出張相談も実施しています。（鳥取地区のみ）  
地域学部(木)、工学部(火)、農学部(水)  
時間 11時～16時40分

### 【ハローワーク出張相談】

毎週月曜日の午後、ハローワークの職員が来学し、出張相談を行っています。全国の最新の求人情報の紹介や、インターネットハローワークの使い方にも対応しています。



## キャリア相談員から学生へのエール

就職活動は、学生の皆さんが人生について真剣に考えるよい機会ではないかと思えます。そこでは、社会に出て働くことへの漠然とした不安や、自分がどんな仕事に就けばよいのかわからない等、様々な不安や疑問に直面します。

何をどうすれば良いのか、戸惑う人も多いと思います。が、一人で悩まないで下さい。友人や先輩、教員やキャリアセンターの相談員等、いろいろな人と話をして下さい。話をすることで、自分の考えがまとめられたり、強みを発見できたり、「一人じゃない」と思うことが、活動への力になると思います。

就活成功の道は、「諦めず続けること」です。内定をもらう人も出てくる頃は、焦りや不安を感じることもあるかもしれませんが、でも、卒業時、「ここで、これから働いていこう」と思える職場に出逢うため、頑張り続けて下さい。「就活」という時期を乗り越えた先輩たちは、良い顔になつていきます。

今年企業採用活動開始が3月からと、ますます短期決戦となります。皆さんは、早い時期から十分な準備をし、悔いのない就職活動を行って下さい。

そして、そのために是非キャリアセンターを利用して下さい。相談員みんなが、皆さんを大歓迎で待っています。どんなことでも、気軽に相談しに来て下さい。

お待ちしております！

キャリア相談員一同

## 卒業生の進路状況

### 平成25年度 学部卒業生の就職状況・進学状況

	卒業生	就職率 (対就職希望者)	進学率 (対卒業生)
地域学部	194名	92.6%	8.3%
医学部	252名	100.0%	17.9%
工学部	438名	99.1%	44.5%
農学部	240名	96.2%	27.0%
全学部	1,124名	96.9%	28.6%

(参考：国公立大学卒業者の4月1日現在の就職状況 平成26年3月卒…96.7% (文部科学省・厚生労働省調査))

本学の卒業生は民間企業をはじめ、官公庁や医療機関などへ就職するほか、より高度な専門性を身に付けるため大学院へ進学する卒業生も多数います。

#### 地域学部

主に公務員や教員のほか、金融・保険業や小売業、製造業など幅広い企業に就職しています。

<最近5年間の主な就職先>

公務員 (鳥取県、鳥取市、米子市、兵庫県、和歌山県、徳島県、名古屋市、宝塚市、姫路市、北九州市、東京都、鳥取県警、岡山県警、広島県警、兵庫県警、海上自衛隊、航空自衛隊、国税局、法務局、裁判所事務官ほか)、教員 (鳥取県、鳥根県、広島県、岡山県、大阪府、京都府ほか)、保育士 (鳥取県、赤穂市、守山市、和気町ほか)、鳥取大学、鳥根大学、イオンリテール、東急リパブル、東京海上日動火災保険、富国生命保険、日本生命保険、日本セラミック、協和発酵キリン、ユニ・チャーム、住友スリーエム、鳥取銀行、山陰合同銀行、中国銀行、但馬銀行、日本郵便、ロフト、日本年金機構、NTTドコモ、ノエビア化粧品、大東建託、大和証券、岡三証券、大山ハム、大黒天物産、日ノ丸産業、JR九州、JR西日本、ヤマト運輸、高島屋など

#### 医学部

臨床研修医や看護師、臨床検査技師として県内外の医療機関等へ就職しています。また、生命科学科の卒業生の多くは大学院に進学し、さらに高度な専門的知識を学んでいます。

<最近5年間の主な就職先>

鳥取大学医学部附属病院、鳥取県立中央病院、鳥取赤十字病院、鳥取県立厚生病院、山陰労災病院、鳥取県済生会境港総合病院、松江赤十字病院、神戸大学医学部附属病院、広島大学病院、大阪大学医学部附属病院、九州大学病院、香川大学医学部附属病院、倉敷中央病院、亀田総合病院、三菱化学メディエンス、ファルコバイオシステムズ、エスアールエル・ラボ・クリエイト、日本食研、小野薬品工業、ロックフィールド、公務員 (愛媛県、香川県、神奈川県、兵庫県、広島市、国土交通省、熊本県警、大阪府警ほか)、臨床研修医 (鳥取県内病院、鳥取県外病院) など

#### 工学部

製造業や建設業、情報通信業等を中心とした民間企業や官公庁へ就職し、専門性を活かしています。また、例年、卒業生の約半数が大学院に進学しています。

<最近5年間の主な就職先>

三菱重工業、富士重工業、三井造船、日立製作所、ノーリツ、JR西日本、JR九州、JR東海、近畿日本鉄道、第一精工、ヤンマー、日本セラミック、スズキ、本田技研工業、三菱自動車工業、三菱電機ビルテクノサービス、NTTネオメイト、ヤフー、九州電力、VSN、大日本通信工業、きんでん、中国電力、関西電力、中電工、島根電工、神戸製鋼所、鳥取ガス、東洋タイヤジャパン、三菱電機エンジニアリング、日ノ丸産業、ドコモエンジニアリング、住友金属プラント、日亜化学、京セラ、旭化学工業、鳥取銀行、イオンリテール、日新化学研究所、ユーシーシーフーズ、寿製菓、大山ハム、タマホーム、五洋建設、大成建設、鹿島建設、中央コンサルタンツ、NTN、東建コーポレーション、日立ソリューションズ、アサヒコンサルタント、日立情報システムズ、日本通運、鳥取大学、公務員 (鳥取県、島根県、兵庫県、三重県、京都市、自衛隊、海上保安庁、地方整備局、鳥取労働局、東京消防庁、警視庁、鳥取県警、和歌山県警ほか) など

#### 農学部

主に農業・林業や食品関係の製造業等の民間企業や金融機関、官公庁に就職しているほか、獣医師 (公務を含む) として活躍しています。

<最近5年間の主な就職先>

鳥取中央農業協同組合、鳥取いなば農業協同組合、ミサワホーム中国、旭食品、ニトリ、キュービー、エーピーカンパニー、山崎製パン、J-オイルミルズ、丸大食品、日本たばこ産業、森永乳業、日本マクドナルド、モスフードサービス、日本航空、JR西日本、山陰酸素工業、協和発酵キリン、ツムラ、大鵬薬品工業、フジッコ、コメリ、大山ハム、寿製菓、フジフーズ、寿がきや食品、田辺三菱製菓、住友化学、塩野義製菓、小西医療器、キッコーマン、中川酒造、みずほ証券、鳥取銀行、山陰合同銀行、島根銀行、但馬銀行、公務員 (鳥取県、島根県、広島県、兵庫県、大阪府、京都府、林野庁、航空自衛隊、農林水産省、厚生労働省ほか)、民間動物病院 など

# 教育を通じたキャリア形成支援——鳥取大学のキャリア教育——

教育研究理念として「知と実践の融合」を掲げる本学では、個々の学生の就職活動の直接的な支援はもちろん、「教育」を通じたキャリア形成支援にもこれまでさまざまなかたちで力を入れてきました。

### 特長1 「全学」へのこだわり

#### キャリア形成支援のための「全学的指針」を制定

キャリアセンターの設置以来、「教育」を通じたキャリア形成支援の充実のために本学が大切にしてきたのが、一連の取組を「全学的」に進捗することです。その象徴が、平成23年度に制定した「鳥取大学における『社会的・職業的自立に関する指導等(キャリアガイダンス)』実施のための全学的指針」です。同指針では、「学内の組織間の有機的連携をはかるとともに学外の協力を得ながら、学生が本学のどの学部・学科に入学したとしても、入学から卒業まで、かつ教育課程の内外を通じて、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うことができる

よう、教育・指導・支援の体制を整備するものである」ことを謳っており、この考えに基づいて本学のキャリア形成支援が具体的に進められています。

### 特長2 入学から卒業までの体系的キャリア教育

#### 「キャリア入門」は1年生全員が履修

本学では1年生対象の全学共通科目「キャリア入門」を、学生の入学から卒業までを見据えた体系的キャリア教育の核として位置付け、鳥取地区・米子地区とも学部1年生全員に履修させています。「キャリア入門」では、本学で充実した学生生活を送ることが今後のキャリア形成にとって最も確かな基盤になるという考えのもと、①将来の仕事を視野に入れた進路選択や生き方に関して目的意識を形成すること、②仕事を通じた自己実現をはかるための能力向上を支援すること、を目標としています。授業では、「キャリア」に関する具体的な知識や情報を提供するだけでなく、毎回の授業で得た気づ

きや学びを学生生活内の他の領域(学部専門科目、サークル活動、資格取得、アルバイト、ボランティア活動等)に波及させるために、学生自らが取り組む課題や目標を設定し、その後の具体的な成果や進捗状況を報告させる活動も授業に組み込んでいます。

また、「就業体験学習」「社会人入門―社会が求める人材」「就職活動に挑む」の3科目も、1年生から履修可能なキャリア教育科目として開設されています。さらに平成27年度からは、全学共通科目の新たな区分として「キャリア科目」が設けられ、キャリア教育のさらなる充実が図られます。

### 特長3 新たなインターンシップの研究・開発

#### 地域の産官学からなる「地域協働型インターンシップ」の始動

本学では現在、文部科学省より平成24年度に採択された「中国・四国産業界の人材ニーズに対応した協働型人材育成事業」をもとに、鳥取県地域で新たなインターンシップの研

究・開発に取り組んでいます。

この取組は、本学のほか鳥取環境大学・鳥取短期大学・米子工業高等学校の計4校が、地域の産業界(経済団体、企業等)や行政(鳥取県等)とともに組織した「鳥取県地域コラボ会」(「コラボ」とは協働 collaboration の意)を母体とするもので、鳥取の地で学ぶ若者を地域の社会と産業を担う中核的人材として育て上げるため、平成25年度より鳥取県地域共通のインターンシップ・プログラム「地域協働型インターンシップ」を始動させています。



学生・企業が一堂に会するインターンシップ合同説明会の模様

# 健康管理に役立つ「家系図」 深まる遺伝への理解

## 「家系図」は未来への贈り物

近年では遺伝子の研究も進み、関心が高い反面、難しく、怖い世界と敬遠されることもある「遺伝」。間違った知識や誤解によりネガティブな印象が強く、誰にも相談できず悩みを抱える方も少なくありません。遺伝を正しく理解し、また家族の健康管理に役立つツールとして「家系図」を描く取り組みを行っています。今作っておけば、未来の孫・ひ孫達へ家系情報を伝える贈り物となります。

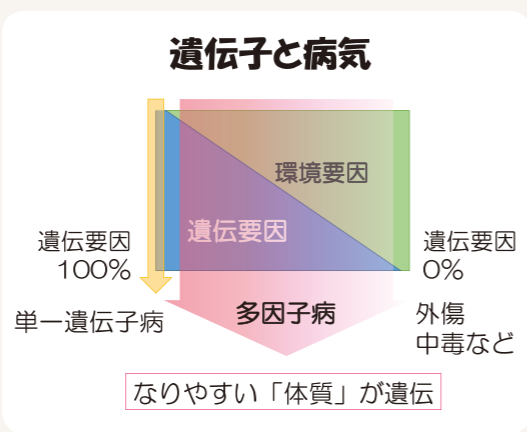
「遺伝」とは  
なんでしょつか？

「遺伝」という言葉は皆さんよくご存知だと思います。学校の授業で習っただけではなく、普段の会話の中でも「遺伝」という言葉を使っていらつしやると思います。では、遺伝とは何でしょうか。日常的に口にする一方で、残念なことに、遺伝に関する誤解や情報の取り違えによる間違った理解も少なくありません。例えばよく質問されるのは「優性遺伝」と「劣性遺伝」です。

「劣性遺伝って、私の遺伝は劣

体がそれぞれ1本ずつです。父由来の性染色体にはXとYがあり、母由来の性染色体はXのみです。父由来がXの場合、母由来のXと一緒にXとなり、母由来の性染色体がYの場合、母由来の性染色体Xと一緒にXYとなります。そして両親もそれぞれの両親から同じように23本ずつを受け継いでいるのです。受け継ぎ続けることで私達は誕生し、未来にまたバトンを渡すことができるのです。では、染色体はどこにあるのでしょうか。私達の体は約60兆個の細胞の集まりです。細胞の中に核があり、染色体はこの核の中にあります。染色体とは、ある種のタンパク質にDNAが巻き付いたものです。そして、DNAの中で特に体を作ったり機能させたりするために必要な情報を持つ部分を遺伝子と呼びます。

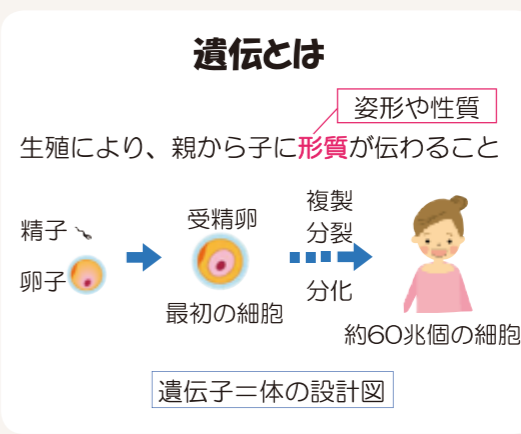
近年遺伝子の研究・解析も飛躍的に進み、遺伝子と病気や体質などとの関係もわかってきています。確かにその中には、遺伝病として発症する単一遺伝子病の情報や、ある病気になりやすい体質の情報も含まれています。しかしその情報があれば全て発症するというわけではありません。多くの病気は



「家系図」で遺伝  
要因を確認しましょう！

遺伝要因と生活習慣・食生活などの環境要因の組み合わせに起因する多因子病です。ですから、一緒に暮らしていれば、遺伝でなくても家族に同じような病気が発症することもあり得るわけです。

ますが、病気だけではなく、両親から様々な特徴をたくさん受け継いで私達は生まれてきています。お父さんに似ていて良かった、と思うこともあれば、なんで似ちゃったんだろ、と思うことも。うれしい特徴もあれば、そうでない特徴もある。それが遺伝です。



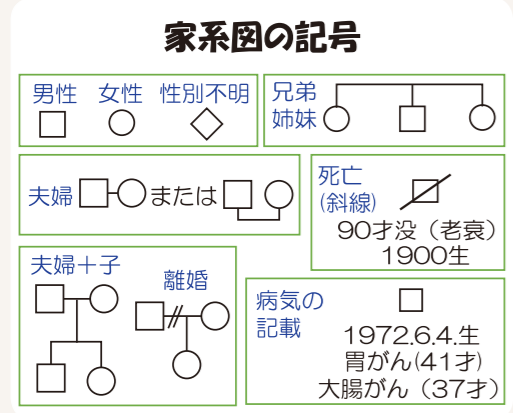
最近では胎児の染色体異常を調べる出生前診断とか、女優のアンジェリーナ・ジョリーさんが遺伝性の乳がん予防のための乳房切除を行ったといったニュースなどで、遺伝の話題を耳にすることが多くなっています。しかし遺伝はオーブンに話しくく、誰かに聞くこともできず、家族にも相談しにくいという声を聞きます。情報はあふれているのに理解が難しいため、

るかもしれませんが、遺伝の家系図は、ご自分と子どもたち、両親、おじいちゃんとおばあちゃん、それぞれの兄弟や子どもたちも含めて記載します。遺伝カウンセリングで作成する家系図は病気にに関する情報が主ですが、ここでご紹介する家系図は、ご自分や家族の健康管理に役立つことと、子孫に家系の情報を伝えることが目的ですので、それぞれの病歴や健康状態に加えて、食生活、生活習慣、性格、その他の特徴なども記載します。

### 家系図の描き方

- 記号と以下のルールを用いて作成する
- 夫婦は夫が左、妻が右（できる限り）
- 兄弟姉妹は、年長者から左→右に
- 年齢（または生年月日）を記載する
- 病名、内容、発症時期を記載する  
例：乳がん（右35才、左42才）  
糖尿病（58才診断、65才左目失明）
- 作成年月日と作成者を記載する

家系図は、パッと見て情報を把握するためのものなので、用いる記号や記載方法にはいくつかのルールがあります。基本となる記号と注意点は以下の表を参考にしてください。共通のルールに従って描くため、初めて診察する医師で

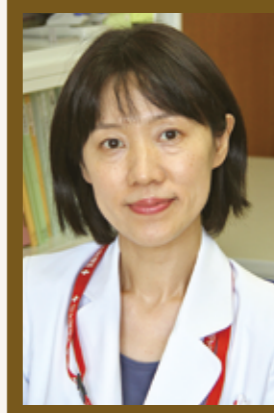


病歴以外にも  
書き込むと、「遺伝」を  
楽しく理解できる

も、家系内の方々の関係と病気をひと目で把握することができます。50年後の子孫も、情報を正確に受け取ってくれるはず。作成の際に注意していただきたいのは、病名を可能な限り詳細に書くということです。例えば「子宮がん」であれば「頸がん」なのか「体がん（内臓がん）」なのか明確にします。発症年齢も重要です。病気の種類や発症時期は遺伝性の判断に重要だからです。また、記憶というのは曖昧になりがちです。覚えていられるうちに正確に詳しく記録しておくことが大切なのです。

人が生まれること、  
すなわち、それ自体が遺伝

ヒトの染色体は46本で構成されています。私達は両親それぞれの染色体を23本ずつ受け継いで生まれてきます。父由来の常染色体が22本。母由来の常染色体が22本。そして男性が女性かを決定する父由来の性染色体と母由来の性染色体



鳥取大学医学部附属病院次世代高度医療推進センター・遺伝子診療科  
特命助教 中川 奈保子  
【略歴】  
2010年京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻遺伝カウンセリングコース修了、同年認定遺伝カウンセリング試験合格、2012年7月より現職。  
【専門】 遺伝医療、遺伝カウンセリング  
【趣味】 絵を描くこと、時代劇を観ること、読書

本センターには教育実践部門と認知・脳科学部門の2部門を設置しました。教育実践部門では、おもに附属学校部での研究発表大会などを舞台に、授業実践の研究を

平成26年4月に地域学部附属子どもの発達・学習研究センターが設置されました。本センターは、鳥取大学附属の幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校で構成される附属学校部との連携をいっそう密にして、子どもの育ちと学びの連続性に関する研究を行うことを目的としています。地域学部では以前より「学習科学教育研究の附属学校との共同連携」および「発達コホート研究」というプロジェクトを実施して、附属学校部との関係は大変強いのですが、個々に実施するよりも、センターとして研究の枠組みを共有したほうが、内部での研究連携も取りやすくなり、外部に対しての情報発信力も高まると考えたのです。

センターの取り組み

行います。授業の練り上げを通じて学び続ける教師像も研究テーマになるかもしれません。認知・脳科学部門では、様々な角度から子どもの育ちの連続性を調べ、教育現場に活かしてもらえる情報を提供します。両部門は教材開発や授業の工夫による子どもの学びへの効果測定等で連携を図っていくこととなります。

また、本センター内にこの地域ネットワーク支援室も設置しました。これは別途、外部資金が獲得できたプロジェクトを実施し、地域への貢献を行います。今年度は、文部科学省、鳥取県教育委員会と鳥取県福祉保健部から各1件の計3件の研究資金が獲得できました。いずれも地域学部のこれまでの研究活動が評価された成果です。詳しくはセンターのホームページをご覧ください。

研究ネットワークの展開

数年前から大阪大学、浜松医科大学、金沢大学、千葉大学、福井

大学には「子どものこころの発達研究センター」が設置され、連携して発達障害を含めた子どもの心の諸問題の研究を行っています。私たちも附属小学校の協力を得て発達性ディスレクシアという文字の読み書きに障害のある子どもたちの研究を行っているため、「一緒にやりませんか」というお誘いを受けたのが、本センター設立のきっかけでした。今年度より弘前大学も加わって7大学で研究連携を図っていくことになりました。

発達障害の研究も行っています。医学部附属病院にある「子どもの心の診療拠点病院推進室」とも協力体制をとり、発達障害の研究を共同で行うことにしています。また、医学部と工学部の教員も加わりましたので、新しい分野融合研究が生まれることが期待されます。

総勢で20数名からなるセンターになりました。皆さんお忙しいので会議はランチミーティングで行っています。拠点は地域学部棟3階の学内共有スペース「地域学部附属子どもの発達・学習研究センター」です。



電話・FAX  
0857-31-5958  
ホームページ  
<http://www.rs.tottori-u.ac.jp/kodomo-center/index.php>

シリーズ「地域を創る」The region is created

地域学部附属子どもの発達・学習研究センターが設置されました

地域学部附属子どもの発達・学習研究センター センター長 小枝達也

生まれたばかりのセンターです。温かい応援をよろしくお願いたします。

病歴以外にも食生活や生活習慣、その人を表す特徴などを記載します。例えば、「26才、メタボ、残業・宴会多い、飲酒好き、運動不足、長身、大学で野球部、社交的」と記載すれば、どのような性格で、どのような生活をしているか、その人の様子が何となく想像できませんか。他にも、性格はのんびり屋か短気か、お酒は強いのか弱いのかということや、計算が苦手、そろばん1級、絵が上手、足が速い、手先が器用、眉毛が太いなど、その人をイメージできる様々な情報を楽しみながら記入してみましよう。書き込んでみると、改めていろいろな人の特徴を受け継いで生まれてきたこと、共通した特徴

家系図の役割と活用法

健康に関わる情報を整理

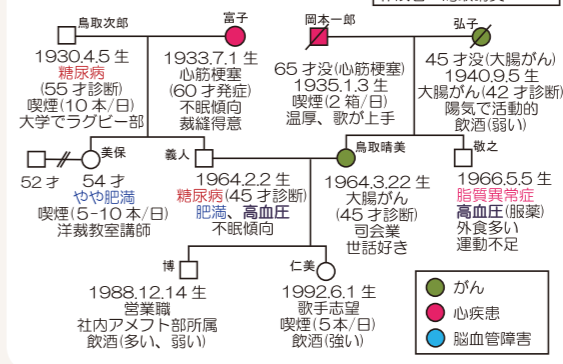
- どんな病気があるのか
  - 発症に関わる要因があるか  
- 食生活、生活習慣、嗜好
- リスクを「見る」

その他の情報を整理

- 性格、勉強、運動能力、才能、特技など
- ④ 家族のつながりを感じる
  - ⑤ 子孫に家系情報を遺す



家系図の例



「家系図」は健康で楽しい人生を歩むためのツール

もありながら、それぞれが独立した個性を持っていることが認識できるはずですよ。

かつたかもしれません。でも糖尿病が代々つながっている様子を家系図で「見る」ことにより、危機意識が芽生え、真剣に生活を見直すきっかけになるかもしれません。家系図を作ることは、健康で楽しい人生を送るため、自分自身にとっても家族にとっても意味のあることなのです。

さらに「遺伝」への理解を深めるために 遺伝知識の普及を目指して

遺伝について正しい理解が進まない要因のひとつとして、学ぶ機会が少ないことが挙げられます。そして、成長するにつれて遺伝にネガティブなイメージを持つことも、遺伝が敬遠される理由の一つと考えられます。遺伝について理解を深めていくためには、まだ遺伝について特定のイメージを持たず、「楽しい」からスタートできる初等教育から遺伝教育を行うと良いのではないかと考えています。そこで、小学3年生を対象に遺伝教材を作成し、その普及に取り組んでいます。教材は模型やゲームにより遺伝の仕組みを学習するものと、創作物語を用いて生物の多様性の理解と、異なる特徴を持つ者が互いに支えあう心を学習するものがあります。

鳥取大学の輪から、「家系図」の輪を広げていきましょう！

まずはこの「風紋」をご覧ください。すでにご家族から家系図づくりを始めみてくださいます。きっと様々な発見があるはずですよ。そして周りの方にも家系図づくりをすすめていただければと思います。その中で、遺伝についても不安なことがあれば、一人で悩んだりせず、私達へご相談ください。遺伝の理解を深め、不安を解消して、健康で楽しい人生を歩んでいただければと思います。

# 独自のアルゴリズムが実現した 至れり尽くせりの「バスネット」

工学研究科情報エレクトロニクス専攻  
教授 菅原 一孔



開発メンバー、学生らとの集合写真

## スタートは、「不便さの解消」

バスは公共交通機関として、高齢化社会には必要不可欠と言われますが、実際は「不便」の一言で片付けられています。私自身「不便だな」と感じたこともあります。鳥取に初めて来たときのこと、鳥取駅前バスターミナルから大学までバスに乗ろうとしたのですが大学行きのバスは出発した後で、係の方に相談したら一時間ほど待たねばならないとのことでした。でも今から思えば、近くの

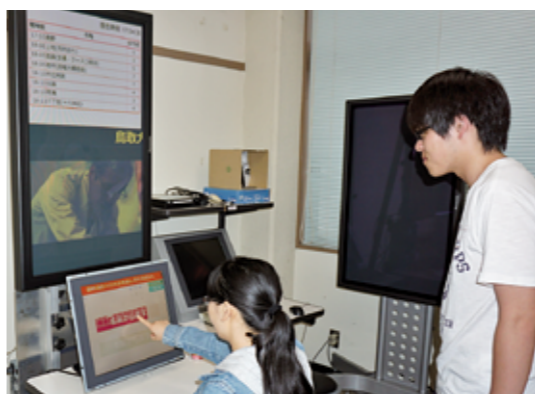
高校前のバス停で停まるバスはその間にも何本も走っていたはずで、大学には直接行けなくとも、すぐ近くまで行けたはずで、この例からも分かる通り、バスの運行経路に関しては係の方ですら十分把握できているとは言えず、ましてや一般の乗客では、ちよつと生活圏を外れただけでバスの積極的な利用は困難です。

都会と比べてバスの数は多くありませんが、発想を変えて「バスの時間に合わせて予定を組めばそれほど不便でもない」とも言えます。先ほどの例も併せて考えてみると、バスの運行経路やその運行時間あるいは目的地へ行くのに便利な最寄りバス停などの情報があれば、便利に利用することができそうです。バスの活用を目指し、まずはバーチャル（仮想現実）上で鳥取市内のバス路線を再現し、システムの構築に研究室の課題として取り組みました。システムもほぼ完成したところで、地元バス会社2社と鳥取商工会議所にも参画してもらい、研修会を立ち上げました。

経路検索では単純に最短の経路を検索しましたが、バス会社の担当者が一言「お客様はどのような乗り換えはしません。特に後戻りするような乗り換えは」と。また、当時モバイル検索では「6秒ルール」と呼ばれる経験則のようなものがあり、検索に6秒以上かかってしまうと利用者は接続が切れたかと思いき、電源を切ってしまうと言われていました。そのため、6秒以内に検索を完了する高速な検索アルゴリズムの開発が不可欠でした。

## アルゴリズムと人の感覚を 合致させることの難しさ

私達は、コンピュータで計算・処理を行う際に、その計算方式としてアルゴリズムを使います。計算のやり方・問題の解き方と言ったらわかりやすいでしょうか。当初は単純に最短経路の検索を行うアルゴリズムでその解決を図りました。しかし最短経路として3つ先のバス停で乗り換えれば、待ち時間も少なく乗り換えが可能でも、経路として後戻りする乗り換えでは、先のバス停まで行かず手前のバス停で、乗り換えようとしています。計算上の経路と利用者として選択する経路をどう近づけていくのか、合致させるか、乗り越えなければならぬ高いハードルでした。共同で研究を進めている本学の川村教授の頑張りにより、半年近くの試行錯誤の結果、ようやく鳥取大学オリジナルのきめ細やかな検索を高速に実行する「バスネット」が誕生しました。このアルゴリズムは学術論文としても発表することがで



インテリジェントバス停の開発風景

## 1ヶ月あたり 6万件以上のアクセス

本来、大学ではそのシステム開発が主目的ですから、鳥取県東部エリアのシステムが完成すれば、これをバス会社へ移譲する予定でした。ところが、バス会社はダイヤ変更はできてもシステムの管理まではできません。しかしここまで出来上がった便利なシステムを利用者に活用してもらいたいという事になり、私達とバス会社2社、他関連企業数社による有限責任事業組合（LLP）を大学発ベンチャー企業として立ち上げました。LLPの中で私達は、バス会社の担当者がダイヤ改正・料金等のデータが簡易に反映できるシステムの開発と「バスネット」のシステム管理を担っています。

LLPの誕生とともに、「バスネット」は鳥取県全域に広がりました。また具体的な停留所がわからない場合でも、登録された約1万ヶ所以上のランドマークから、出発地・目的地を選ぶだけで経路検索を行い、最寄りの乗車バス停・降車バス停、乗換情報を表示します。またバス会社との連携により、年末年始といった特別ダイヤもリアルタイムに

反映されます。これは全国的にも稀な連携のようです。バス会社との連携、時刻表・料金表の反映システム等に全国から多くの問い合わせと見学希望を頂いています。また利用数としても、現在では1ヶ月あたり6万件以上のアクセスになりました。この数値は人口60万人弱の鳥取県からすると、決して少なくないと考えています。

## インテリジェントバス停の 充実と、バスロケーション システムの運用

「バスネット」は携帯電話・スマートフォン・パソコンで活用いただきたいのですが、今後の高齢化社会を考えた時、高齢者にどう活用してもらうかという課題が見えました。検討の結果、タッチ式のモニター画面をバス停に設置し、利用してもらう



鳥取駅バスターミナルのバスネット

ことになりました。現在、鳥取駅バスターミナル、とりぎん文化会館、鳥取県庁、鳥取県立中央病院、生山駅の県内5ヶ所ですが、今後さらに設置バス停を増やしていく予定です。

また現在実用化に向けて実証実験を実施しているのが、バスロケーションシステムです。鳥取市を中心に実験対象路線のバスが、今どこを走っているか、携帯電話・スマートフォン・パソコンでリアルタイムに確認することができるシステムです。

これは冬場の積雪による遅れに限らず、普段でも渋滞による遅延などの情報が一目で分かり、その遅れを考慮した情報提供が行えるシステムです。

## 「バスネット」は交通情報の核 今後様々な発想で更なる発展が

「バスネット」はバス経路検索のアプリケーションですが、様々なアプリケーションにも活用できる公共



「バスネット」  
<http://www.ikisaki.jp>



交通情報の核だと考えています。地域情報・観光情報とも連携し、約一ヶ月以上のランドマークが登録されていますから、様々な発想で活用していただくことにより、地域の活性化等につながると思います。バスで巡る観光情報のアプリケーションであったり、バスの待ち時間に近くのお店のインフォメーションが表示されるような商業的な活用も。ガソリン価格が高騰する中、環境問題として、また迫り来る超高齢化社会にあって、バスという公共交通機関は、その地域の人にとって高い実用性が必要です。その実用性を少しでも高めるために学生たちの斬新なアイデアを取り入れながら「バスネット」をさらに進化させていきたいと思います。

# Student's VOICE

## 鳥大生が語る

### 広島県出身編



#### Q: 鳥取大学、(学部)を選んだ理由は?

**濱田** 最初は東京か広島の大学を考えていました。カーブファンなので、球場にすぐ行けると(笑)

ただ現実的な選択をもう一方では考えていて、国公立の近い大学という絞り込みをしました。両親から強制されたことはありませんが、鉄工関係の自営業なので、いつかは家を継ぐことにもなるからと工学部を選びました。

**山室** 私、実は大学に進学するつもりではありませんでした。2年生の時に先生から大学に進んだ方が良いと言われて。じゃあどこに進もうかって(笑) 3年の夏に先生からAOで受験を考えてみるようにアドバイスされ、祖母が農業をしていたこともあり、興味もあつたので鳥取大学の農学部を受験しました。

**山内** 子供の頃から看護の仕事がしたいと漠然と考えながら、最終的に国立にしようと思いましたが、でも看護ってどこで学んでも一緒じゃないの?という気持ちがあり、なかなか志望を決められませんでした。

**萩原** 今は、本当に入学してよかったと思っていますが、入学当初は、志望通りでもなく、辞めようかと悩んでいました。そんな1年生の時に一人でインドに行っちゃったんです。体調崩したりもしまし

ました。色々考えていた時に、父が鳥取出身で、おじいちゃんとおばあちゃんが鳥取にいらなく。子供の頃から鳥取にはよく来ていて鳥取って知ってる!って鳥取大学にしました。でもよく考えたら医学部は、来年からは米子に変わりますけど(笑)

**萩原** 高校時代は理系クラスで、農学部とか理学部志望だったんですけど、数学・理科がどうしてもできなくて(笑) センター試験も理系としては散々でしたね。最終的に小論文は苦手じゃないしと鳥取大学の地域学部に。実はD判定だったんですよ。今思えば何を考えてたんだ!って感じですよ。でも、今はすごく鳥取大学で学ぶことが楽しくて、入学してよかったと思います。

#### Q: 鳥取大学はどんな大学ですか?

**萩原** 今は、本当に入学してよかったと思っていますが、入学当初は、志望通りでもなく、辞めようかと悩んでいました。そんな1年生の時に一人でインドに行っちゃったんです。体調崩したりもしまし

たが、現地での出会いとか、異文化に触れることが楽しくて。結局インドには2回行ってます。イギリスにはインターシップを活用して行ってきましたし、海外に積極的に飛び出しています。元々田舎志望だから、鳥取大学は集中して自分のやりたいことに取り組める環境が整っていると思います。

**山内** 軽音とテニスサークルに所属して、もう毎日が楽しくて。米子には行きたくなくて(笑) でも、キャンパスと医学部附属病院の見学をしましたが、入学前のイメージとは違ってました。最新設備も揃い、施設も充実してる。医療現場特有の緊張感も感じることができました。

**山室** キャンパスがコンパクトで移動も楽です。高校時代は広大なキャンパスに憧れましたが、実際移動は大変だし。他の大学に通う友達に、満員電車でヘトヘトになって授業に出ていたり大変みたいですから。キャンパスの近くから通学も楽で、授業にも集中で

ここで学びたい!と改めて思いが強くなりました。

きます。それに先生との距離もすごく近くて、先生も親身に相談に乗ってくれます。

**濱田** とにかく大学生の4年間は徹底的に何かを楽しもうと決意して入学しました。鳥取大学は先生との距離が近いから、卒論でも何でも色々相談しながら勉強は勉強として取り組めます。その分、空いた時間は自分のやりたいことに使うことができるし、それを認めてくれる雰囲気がある大学だと思います。

#### Q: 鳥大で今学んでいること、学びたいこと

**山室** 植物病理学を専攻していて、今は研究室で野菜の病原菌をいかに駆逐するかといった研究をしています。実



験と研究の毎日です。入学から色々学んでいる間に研究的な分野が向いていると思えました。高校では修正ができないことばかりですが、大学ではその過程の中で自分の可能性を見つけていけます。山内 看護はどこで学んでも一緒じゃないの?という疑問が消えたわけじゃないです。でも米子キャンパス・附属病院を見学できたので、きつと鳥取大学ならではの看護学があり、私なりの看護を学んでいけるはずだと思えるようになりました。もちろん湖山キャンパスの友達やサークルの先輩と離れたくないです。医学部を選んだ学生

の一番辛いところかも(笑) **濱田** 成績は悪くないと思えますけど、あまり勉強は頑張っていないかな(笑) 広島カーブとデザインが大好きで、目標通り学生の4年間で、目標通り学生の4年間で、徹底的に楽しんでいます。海外には行ってないけど、国内はマイナーな観光スポットも含めてくまなく行きました。だから就活の面接も思い切り楽しんだことを自信を持ってアピールできました。

**萩原** まだ明確なゴールは見えてないですね。3年生ですけど(笑) とにかく今いろいろな授業から吸収できること、言語学・異文化交流e.t.c. それととにかく楽しいですね。地域学部は何を学ぶか分かりにくいかもしれないけど、逆に学ぼうと思えば理系・文系なんて枠は関係なく、自分の興味ある分野を探したり、深く探ることができると学部ですよ。

#### Q: 鳥取のこと、まち・暮らし

**山室** 鳥取駅が自動改札じゃなくてびっくりしました! IC/OCA(電子マネー)が使えないよ(笑)

それからアパートの上の階の人が海外研修に行っている間に、その人の部屋で水漏れが発生。これも自分で解決しないといけないの。その時はどうしたらいいの?って夜も眠れなくて。今ではいい思い出なんですけど。あとはホテルが見れますよね。そんなに山奥に行かなくても。そんな風景が当たり前にあるのが鳥取はすごい!って思います。

**山内** 慣れ親しんだまちですけど、やっぱり一人暮らしは大変ですね。掃除とか洗濯とか、遊びに来るのは違いますが、アルバイトもしたんですけど、来月から米子に変わるので、なかなか短期では採用されなくて。来年から本格的に頑張ろうと思っています。でも私は湖山と米子の両方のキャンパスを楽しめるから、今年一年はとにかく湖山キャンパスを楽しみますね。

**濱田** 一人暮らしですごく女子力上がりしましたよ(笑) それと広島を離れたからこそ、広島の良いところを見直しましたね。それと「たいがい」とか「たわん」とか方言が通じないからこそ、絶対広島弁をしゃべるぞ!って思いが強い

です。色んなことにチャレンジして、色んな友達と仲良くなれるし、かけがえない4年間が経験できると思います。

ですね。広島人は広島弁も喋るけど標準語もちゃんと喋れると自負してますから(笑) **他三名** (笑) そうそう。

**萩原** 私は田舎に慣れていたので、自動改札じゃなくても全然大丈夫です(笑) 陸上部でトレーニングしていても空気がすごくきれいですね。休みに山に行ったり、日本海で魚釣りして釣った魚を食べたり、最高の環境です!このメリハリがまた授業にいい刺激を与えてくれますね。

**山室** 地元を離れて進学するのは友達がいなくて不安が強いと思いますが、学生もすぐ仲良くなれるし、かけがえない4年間が経験できると思います。

**萩原** 色々なことにチャレンジして、色んな友達と仲良くなれるし、かけがえない4年間が経験できると思います。

と思います。特に私のような学生にとって地域学部は、チャレンジ出来る環境も整っていますよ!鳥取から全国に色々な友達の輪も広がります。

**山内** 入学するまでは色々不安でしたが、友達もたくさん出来たし、みなさんのお話も聞いて、改めて大学はチャレンジできる場所なんだと思いました。私もこれから色々チャレンジしますから、ぜひ鳥取大学と一緒にチャレンジして欲しいですね。





### 環境意識向上サークル e心が鳥取西ロータリークラブから表彰

学生サークルのe心(エコココ)が鳥取西ロータリークラブの社会奉仕賞に選ばれ、4月11日に表彰されました。e心は2006年に設立以来、環境に関するイベントの企画・運営や環境関連イベントに参加するなど、活動としており、平成25年度は湖山池周辺のゴミ拾い等の活動を実施しました。この度の表彰はこれらの活動が評価されたものです。



### (オーストラリア) アデレード大学の学生研修『Gateway Japan Study Tour』の開講式を挙げる

本学では、アデレード大学(オーストラリア)の学生30名による県内での研修プログラム「Gateway Japan Study Tour」を受け入れることとなり、4月15日に本学広報センターで開講式を挙行しました。同プログラムはオーストラリア政府による「新コロナ計画」の一環で、同計画ではインド太平洋地域での人的交流や大学間の関係強化の取り組みを推進しています。このたび本学で企画

された同プログラムは、企画を行ったアデレード大学の米山尚子博士が鳥取市出身であったことなどが縁で、本学が受け入れ先に選ばれました。開講式で、豊島学長は「鳥取県は田舎ですが、古い歴史や面白いものがある。それが何かをしっかりと見て、それらを探ってみてください」と激励しました。また、米山博士は「両大学にとって忘れがたい学びと出会いの場になることを願っています」とお礼を述べました。



開講式で挨拶を行う豊島学長(左)と米山博士(右)

### 科学技術振興機構(JST) 平成26年度国際科学技術共同研究推進事業「地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS) 研究課題」に採択

農学部「乾燥地に適応した魚種作物種を用いたアクアポニックスによる水の有効利用と持続的食料生産」プログラムが、独立行政法人科学技術振興機構(JST)の平成26年度国際科学技術共同研究推進事業「地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS) 研究課題」に採択されました。1. 概要 乾燥地域では、水資源が乏しい上に過剰な灌漑や施肥により土壌の塩類化が進行し、同時に地下水の塩分濃度が上昇し作物の生産性が急速に低下しています。この負の連鎖は、研究対象国のメキ

シコでも引き起こされています。本研究では、養殖と農業を結合させるアクアポニックス法を導入します。①塩分を含む地下水を用いてその塩分濃度に適した魚種の養殖を行う。②その排水を利用して、塩分を吸収する特性をもつ作物を栽培することにより水質浄化をはかる。③最後に浄化された水を作物露地栽培に利用する。このような乾燥地に適した新しいアクアポニックス法により、水資源の量・質の改善と農水産物の安定的な生産を同

時に実現します。 2. 研究期間 5年間(平成26年~30年) 3. 研究代表者 山田 智(農学部生物資源環境学科 国際環境科学 講座准教授) 4. 相手国・相手国研究機関 メキシコ合衆国・メキシコ北西部生物科学研究センター

従来の「水の利用」  
灌漑地下水 → 養殖 → 水質浄化 → 露地栽培  
真水の回収・再利用  
乾燥地に適応した新しいアクアポニックス法

### ヨットの寄贈に対して感謝状を贈呈

4月23日、本学に470級ヨットを寄贈されたヨット部OB会会長 山本倫史さんに豊島学長から感謝状を贈呈しました。このヨットは、ヨット部が創部50周年を迎えたことを機に、同部の更なる発展のためにOB会で寄付を募り、寄贈してくださったものです。全長4.7m、2人乗りの競技艇で、オンドウライイオーネ(イタリア語で「うねり」の意)と名付けられました。ヨット部は平成25年度に中四国学生ヨット選手権大会国際470級団体で優勝、全日本ヨット選手権大会出場な



進水式で帆走する新艇

ど、優秀な成績を収めています。主将の速水裕樹君(工学部4年)は、「全日本インカレ入賞という目標達成のため、大切に使用します。」と大喜びの様子でした。この田植え作業は、「智頭町コントリビューションの会」の協力の下で鳥取県留学生交流推進会議(主管・鳥取大学国際交流課)が実施しているもので、休耕田を利用して栽培した米を食糧難に苦しむケニアの児童養護施設に送っています。また今年度は栽培する米の一部を非常に備蓄し、国内外の災害発生時に緊急食料として被災地に送る国際貢献活動も行う予定です。爽やかな晴天の下で行われた田植え作業は、大人から子供まで一列になり、



地域住民と一緒に田植え作業を体験する留学生

### ファブラボとっとりキックオフシンポジウムを開催

5月17日、18日に「ファブラボとっとりキックオフシンポジウム」が開催され、多数の教育・行政関係者、大学生に加え、多くの一般の方を含む約150名が参加し、盛会に終了しました。ファブラボは「つくる文化」や「つくる技術」を広めていくことを目標として世界中に拡大しているワークショップです。ファブラボとっとりは、鳥取大学を中心とした高等教育機関、行政機関、商工関係団体など54機関が協同して事業を行っており、ものづくり道場が運営している県内最大級のも

のづくりネットワークで、3Dプリンタ、レーザー加工機、刺しゅうマシン、電動工具など400点以上完備しており、2名の常駐スタッフのもと、子どもから専門家までの個人がものづくりを楽しむことができます。シンポジウムでは豊島良太学長が挨拶を行い、ファブラボジャパン発起人の田中浩也氏(慶應義塾大学准教授)、JST科学コミュニケーションセンター事務局長の長谷川奈治氏による基調講演が行われました。その他に事業紹介やパネルディスカッションなどが行われ大いに盛り上がりました。

### 乾燥地研究センター岡本助教らが植物のストレス応答を制御する化合物の開発に成功

鳥取大学乾燥地研究センターの岡本昌憲助教は、静岡大学の轟教授および博士課程の竹内さんと、植物のストレスホルモンとして知られるアブジシン酸(ABA)受容体の立体構造を緻密に解析することで、ABA受容体の機能を阻害する新奇化合物の創出に成功しました。ABAの作用を打ち消す化合物は世界初であり、これまでにない全く新しいタイプの農薬開発へと

展開できる可能性があります。本研究が発展することにより、乾燥などの環境ストレスによる作物生産性低下を緩和できることが期待されます。本研究は、静岡大学、鳥取大学、東京農業大学および理化学研究所を中心とした国際共同研究グループによる研究成果で、米科学雑誌「Nature Chemical Biology」に掲載されました。

# 『鳥取大学ホームカミングデー2014』を開催します!

ホームカミングデーは、本学を卒業された同窓生の方々が学部、学科や年代の枠を超えて母校につどい親睦を深めることにより、同窓生相互の発展と連携の絆をつなげようとするものです。この機会に是非、来学いただきますようご案内します。

## 大学祭(風紋祭)にあわせて開催!

**日時** 平成26年10月12日(日) 10:00~(受付開始)

**会場** 鳥取キャンパス (鳥取市湖山町南4丁目101)

**内容** ○講演会 講師 日東電工株式会社 代表取締役 取締役会長  
**柳楽 幸雄** 氏 (昭和46.3 工学部卒)

- ウエルカムパーティ (無料) ・大学オリジナルグッズ抽選会
- キャンパスツアー ・鳥取地区の特色ある施設・設備等の見学
- その他 ・鳥大のあゆみ写真展・販売市 (鳥大グッズ等)
- ・お茶席 (茶道部)・映像で見る鳥取大学の近況

主催：鳥取大学学友会 共催：鳥取大学  
《お問い合わせ・申込先》

鳥取大学総務企画部広報企画室 (学友会事務局) **TEL** 0857-31-5006 **FAX** 0857-31-5750  
**Eメール** ge-kouhou@adm.tottori-u.ac.jp

## サークル紹介 ラグビーフットボール部



部長 横山 巧さん (工学部3年生)  
部員 岡崎 翔平さん (工学部3年生)

楢木のラグビーフットボールを追いかけ流した汗はとでも爽快で、一度経験すると忘れられませんが、ポジションも様々ですから、足が速い・体がデカイ等、個々の特徴が必ず活かせる面白いスポーツです。

ところが、ラグビー部は今年復活したばかり? 復活の途中です。私が入学した年に、部員不足で休部になっていました。ラグビーをしたくて2年間は医学部のラグビー部で試合の助っ人として参加していました。その時にOBの方々から非常に残念だという声もありましたし、自分自身も湖山キャンパスにラグビー部を復活させたい! という思いが沸き上がってきました。

そこで今年の春、同じ工学部の友達で、ラグビー経験者の岡崎くんにも声をかけました。「ラグビー部を復活させよう!」って。そこからは友達つながりで、ラグビー経験者を中心に勧誘し、現在11名になりました。でも、ラグビーはフィフティーンです。

まずは15人で試合に出場できる部員数が目標です。マネージャーも何人か必要ですし、様々な役割を担当してくれる部員も必要です。ラグビーは「One for all, all for one」と言われるように試合中の15人も一人のため、またチームのために汗を流しますが、ラグビー部としても部員一人一人のため、そして部存続のために一緒に汗を流してくれる仲間が必要なんです。ですからラグビー経験者はもちろんですが、経験者じゃなくても、ラグビー部復活に協力してくれる人を大・大・大募集しています。



## 図書館紹介 新着雑誌・新聞コーナー

中央図書館の玄関に入って右側に新着雑誌・新聞コーナーがあります。新着雑誌コーナーでは、週刊誌、一般教養誌、文芸雑誌、学術雑誌など合わせて269タイトルが閲覧できます。この内、学術雑誌は電子化されてコンピューター上で閲覧するものが多くなりました(特に外国雑誌)。新聞コーナーでは、全国紙(朝日、読売、毎日、日経、産経)と地方紙(日

本海、山陰中央)、専門新聞(日刊工業、日本教育、日本農業、科学)、Japan Times、などの外国新聞もあり、16誌が閲覧できます。また、兵庫県出身の学生からのリクエストに応え「神戸新聞」も購入しています。椅子に座ってゆっくり読むことができます。バックナンバーとして主要紙は過去5年分、日本海新聞は10年分以上保存しています。

医学図書館では玄関に入って右側のブラウジングコーナーで全国紙と地方紙、およびJapan Timesの8誌が閲覧できます。また、新着雑誌は63タイトルが閲覧できます。中央館、医学図書館ともに、開館中はいつでも閲覧できますのでご利用ください。



中央館 新着雑誌・新聞コーナー



医学図書館 ブラウジングコーナー

## シリーズ 鳥取大学の歴史 (1)

現在の鳥取キャンパス(鳥取市湖山町)は、昭和41年に現在の位置に移転してきました。それまで鳥取大学には統合されたキャンパスがなく、鳥取市内各所に学部や事務局が散在している状況でした。また、ほとんどの建物が木造建築で老朽化も激しいものばかりで、校舎の早急な改築が関係各方面から望まれていました。

昭和32年に着任した第3代学長三浦百重は、着任してから種々の検討を重ね、昭和36年三浦試案なるものを学内に提示しました。その後、学内だけでなく学外にも移転論議が広がり、県民世論が大いに盛り上がりました。統合移転構想の具体化に伴い、その候補地である湖山町の対応は極めて迅速なものでした。昭和36年11月23日付の各新聞で、移転候補地の一つが湖山町であると報じると、湖山町自治会は11月25日さっそく総務部会を開催して、この問題を協議し始めました。また、大学の誘致を将来構想の核と考え、地元民の説得や誘致運動に積極的な地元民も現れました。

その結果、湖山町濃山地区への

鳥取市吉方にあった農学部の前身である鳥取高等農業学校(後の鳥取農林専門学校)(上は大正11年、下は現在の様子)



鳥取市立川にあった統合移転前の学舎

移転が決定するや、鳥取大学統合移転湖山町対策協議会が設置され、統合移転が完了するまで、種々の障害解決に積極的に協力し、地元の総意をあげて移転事業の成功にむけて活動することになったのでした。「湖山のあけぼの」「鳥取大学三十年史」より)



**公開講座のご案内** 申込必要・受講料無料

**Excel 講習会** Excel の利用方法を分かりやすく説明します。  
 ●日 程：8月23日(土)～8月24日(日) 10:00～16:00  
 ●会 場：鳥取大学 医学部 総合教育棟 コンピュータ演習室 (米子市西町)  
 ●対 象：初心者対象 (パソコンの基本操作ができる方)

問い合わせ：鳥取大学附属図書館 医学部分館 図書館情報課 学情情報係 TEL 0859-38-6462

**パソコン講座 (ワードを使おう)** パソコン初心者を対象に、ワードを使った文書の作成、編集のやり方について講習します。  
 ●日 程：8月23日(土)～8月24日(日) 10:00～16:00  
 ●会 場：倉吉交流プラザ (倉吉市駄経寺町)  
 ●対 象：初心者対象 (パソコンの基本操作ができる方)

問い合わせ：鳥取大学 総合メディア基盤センター 事務室 TEL 0857-31-5326

**サイエンス・アカデミーのご案内** 申込不要・受講料無料

■テーマ/附属病院シリーズ「ダントツ!とりだい病院トピックス」  
 ■日 時/毎月第2・第4土曜日 10:30～12:00  
 ■会 場/鳥取県立図書館 2階大研修室 (鳥取市尚徳町101)

8月23日(土) “発明楽”の実践!!～黄砂、PM2.5の健康影響評価を経た知財創出～  
 9月13日(土) 発明楽で“世界をより良き場所に”輝き続ける会社や人の3つの特徴  
 9月27日(土) 気になる!家族の病気と体質:家系図を描いて健康管理

問い合わせ：鳥取大学 研究・国際協力部 社会貢献課 TEL0857-31-6777

**第50回 風紋祭 in鳥取キャンパス**

10月11日(土)～10月13日(月)

模擬店・展示、ビンゴ、フリーマーケット、ゲストラライブ 等  
 ※内容については、変更する場合があります。

**第47回 錦祭 in米子キャンパス**

10月31日(金)～11月2日(日)

模擬店・展示、ビンゴ、フリーマーケット、ゲストラライブ 等  
 ※内容については、変更する場合があります。

**編集後記**

本号では、学生のキャリア形成支援を行う組織である「キャリアセンター」を特集として取り上げました。「キャリア形成」と聞けば、「就職活動」という側面のみをイメージしてしまいがちです。しかし実際には、就職活動の支援に止まらず、入学時から学生が主体的に自らの将来について考えるよう、「キャリア入門」や「就業体験学習」が開講され、体系的にキャリア教育が行われていることをご理解頂けたのではないかと思います。

卒業生からのメッセージでは、実際に就職活動を体験した卒業・修了生の実体験が語られています。そこからは、学生時代に学んだ事柄に自信を持つている様子が窺え、「充実した学生生活を送ることが今後のキャリア形成にとって最も確かな基盤となる」ことが、どの実体験からも読み取れます。そして、就職活動がうまくいかなかったとしても、そこでの経験の意味をポジティブに捉え直し、新たな一歩を踏み出すことができたのは、まさに学生生活を通じて培われた「人間力」によるものであろうと感じました。

卒業・修了生の進路に関する話題につきましては、かねてより本誌の記事として取り上げることが期待する声が寄せられておりました。本号で取り上げたような就職活動の体例例につきまして、毎回少しずつでも紹介できるように検討しておりますので、今後の「風紋」にもどうぞご期待下さい。(KU)

信頼と笑顔      地域に感謝      move your heart

鳥取銀行では、地域社会や環境との共生・共存を目指し、さまざまな地域貢献活動に取り組んでいます。

「とりぎん青い鳥基金」	鳥取砂丘の清掃活動	鳥取大学「鳥取銀行講座」	ネーミングライツによる地域支援
とりぎんバードスタジアム	とりぎん文化会館		

TOTTORI BANK 青い鳥の銀行です。 **鳥取銀行**

風紋はバックナンバー全てを、鳥取大学ホームページでご覧いただけます。 **鳥取大学広報誌** 検索 [www.tottori-u.ac.jp/fumon](http://www.tottori-u.ac.jp/fumon)

鳥取大学に関するお問い合わせ先	入学試験	TEL0857-31-5061	研究・産官学連携	TEL0857-31-5608	公開講座・社会貢献	TEL0857-31-6777
	学生・学生生活	TEL0857-31-5053	授業料納入	TEL0857-31-5029	学生就職関係	TEL0857-31-5456
	その他はホームページ <a href="http://www.tottori-u.ac.jp/ask">www.tottori-u.ac.jp/ask</a> をご覧ください。					

2014年8月発行 編集発行/広報委員会 広報誌編集専門委員会

<b>鳥取大学</b> Tottori University	裕見 吉晴 (委員長・工学研究科) 山下 博樹 (地域学部) 西村 正広 (医学部) 山岸 大輔 (産学・地域連携推進機構)	塩崎 一郎 (工学研究科) 遠藤 常嘉 (農学部) 上野 耕平 (大学教育支援機構) 西尾 龍雄 (総務課)	〒680-8550鳥取市湖山町南4-101 TEL: 0857-31-5006 FAX: 0857-31-5018 [E-mail] toridai-kouhou@adm.tottori-u.ac.jp [ホームページ] http://www.tottori-u.ac.jp
-----------------------------------	---	---	--

表紙題字：住川英明 (地域学部)